

香川の 土地改良

発行所

香川県土地改良事業団体連合会

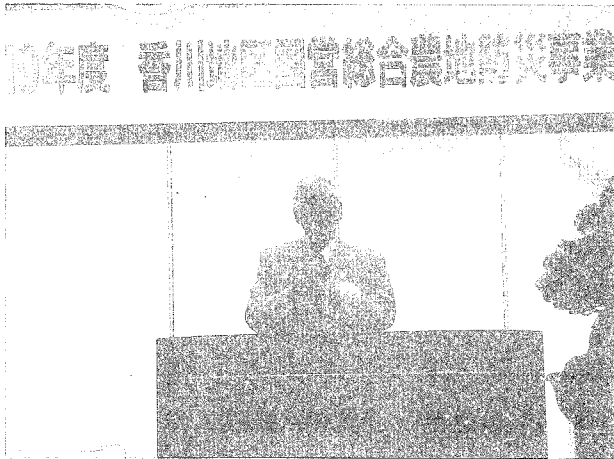
高松市番町2丁目4-27-301

TEL (087) 822-0303

FAX (087) 851-1787

E-mail: ktr-ho01@athena.ocn.ne.jp

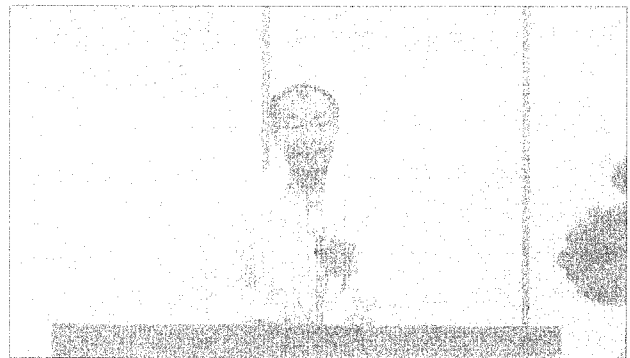
香川地区国営総合農地防災事業推進協議会総会開催



香川地区国営総合農地防災事業推進協議会の総会が、去る6月8日午前11時より高松市西の丸町の「ホテルニューフロンティア」において開催された。

開会に当たり池田推進協議会長は平成5年に着工した香川地区国営総合農地防災事業は平成20年で完了する見込みとなった。198ヶ所のため池が立派に改修されることは大変有り難いことであるが県下には先人が残してくれた大遺産であるため池が沢山残っている。県土、県民を守るためにこれ等の池についても改修が必要。財政難の時ではあるが中央も地方も関係者が心から愛情を持って進めて欲しいと挨拶された。

続いて、来賓として真鍋香川県知事から最初に現在続いている小雨についての話があり早明浦ダムの貯水量が減少していることから本日から香川用水の取水量が35%カットされる第二次取水制



限が実施される大変厳しい状況になっている。農業用水の有効利用や農作物への影響防止の対策を講ずることにしているが、今後一段と厳しい状況が予想されることから、ため池の適正な貯水管理への要請があった後、香川地区国営総合農地防災事業は来年度完成に向け順調に推移していることへの関係者の協力に対するお礼、県としては水源として、また、地域住民にうるおいや、やすらぎの場を提供する等多面的な機能を発揮するため池の計画的な整備や水環境の保全と創出に取り組んでいる。とりわけ、国営総合農地防災事業は農業の発展はもとより県民生活の安全安心のために欠くことの出来ない極めて重要な事業であると挨拶された。

引き続き、尾崎香川県議会議長、中国四国農政局長代理・高島農政局次長よりそれぞれ祝辞が述べられた。

続いて、木下香川農地防災事業所長から平成18年度事業実施状況及び平成19年度事業実施計

画が報告された。この後議事に入り、香川県内場池土地改良区の泉川理事長を議長に選出し下記議案が審議されいずれも原案通り承認された。

【承認された議案】

- 第1号議案 平成18年度事業報告及び収支決算について
- 第2号議案 平成19年度事業計画及び収支予算(案)について
- 第3号議案 役員の選任について

香川地区国営総合農地防災事業実施計画

1) 平成18年度実施状況及び平成19年度実施計画

管内	平成18年度工事実施	平成19年度実施予定	備考
大川	川股池(東かがわ) 国清下池(東かがわ) 石神池(さぬき) 宮池導水路(さぬき)		
中部	坂瀬池(高松) 西谷池・蓮池(三木) 小川下池(三木)	小川下池(三木)	
綾歌	実光池(綾川) 新池(綾川) 徳利池(綾川)	打越上池・下池導水路 (まんのう)	
仲多度	前池導水路(善通寺) 宮池導水路(善通寺) 上池導水路(まんのう)	宮池導水路(善通寺) 上池導水路(まんのう)	
三豊	姥ヶ懐池(観音寺) 阿弥陀池(観音寺) 水政池(三豊) 岡池(三豊) 唐頭池(三豊) 勝田池(三豊) 南池導水路(三豊)	勝田池(三豊) 皿池導水路(三豊) 南池導水路(三豊) 小原池導水路(三豊)	
計	20 (13)	8 (2)	

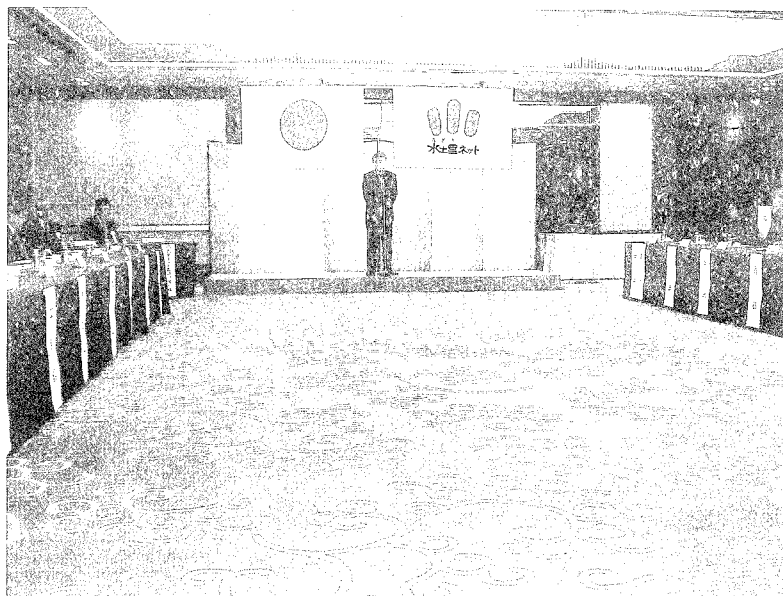
※平成18年度までため池196池、導水路5路線が完了。

平成18年度及び平成19年度の太字は完了ため池・導水路を表す。

計欄の() 書きは完了ため池数を示す(導水路は除く)。



中国四国土地改良事業団体連合会協議会総会開催 財務省・農林水産省への提案・要望事項決定



中国四国土地改良事業団体連合会協議会の総会が去る6月8日、広島市の広島全日空ホテルにおいて鮫島中国四国農政局長、有岡広島県副知事、小林全土連技術顧問等の出席を得て開催された。

冒頭、当番県の広島県土連吉岡副会長から国においては平成19年度から農政改革として品目横断的経営所得安定対策、米政策改革の推進、農地・水・環境保全向上対策の施策が着実に実施されている。現在、農業農村は大転換期を迎えているが、本協議会としては地域の特性を活かして活力ある農業農村整備づくりに取組をしていかなければならない。関係者の一層のご協力をお願いすると挨拶された。

この後、21世紀土地改良区創造運動中国四国地方大賞表彰式があり、地域住民と連携してダムなどの水利施設の維持管理活動を一体的に推進している「水土里ネット高梁川用水」と21創造運動に優れた企画力を活かして広域的な運動を展開、リーダーの育成を図っている「水土里ネット道後平野」の二つの水土里ネットに対して中国四国地方大賞が授与された。

続いて、来賓として出席された鮫島中国四国農政局長、有岡広島県副知事、全土連会長代理の小林技術顧問からの祝辞の後、新規事業説明として中国四国農政局中川整備部長から「農業用水水源地域保全対策について」の紹介、また、同整備部阿武設計課長から最近の税収についての説明がされた。

引き続き総会に入り広島県土連吉岡副会長を議長に選任し第1号議案その1「農業農村整備事業施策制度等に関する提案」、第1号議案その2「平成20年度農業農村整備事業の予算編成について」の提案・要望事項等が審議され原案通り承認、併せて、本提案・要望書を6月下旬に国会議員、財務省、農林水産省へ提案、要望する活動計画が決定された。

【農業農村整備事業施策制度等に関する提案事項】

- 提案1 「農地・水・環境保全向上対策」の新規採択について
- 提案2 水土里情報利活用促進事業の事業費拡大について
- 提案3 農業水利施設の受益地情報を整備する制度の創設について
- 提案4 団体営事業で造成された農業水利施設のストックマネジメント事業の創設について
- 提案5 土地改良施設維持管理適正化事業制度の拡充について
- 提案6 基幹水利施設活用産地育成支援事業の創設について
- 提案7 集排汚泥等によるバイオガス発電等実証事業の創設について
- 提案8 バイオ・エタノール用水稲の作付けのための生産基盤の整備について
- 提案9 小規模団地における区画整理の要件緩

和について

提案10 発注者支援機関活用のための環境整備 について

提案の趣旨

農業農村は、食料の安定供給とともに、豊かな自然環境、美しい景観の保全など多面的な機能を通じて、美しい国土を形成し、国民の生活を支えるなど大きな役割を担っております。

しかしながら、近年、農業農村を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手の不足、耕作放棄地の増加、更には農村の過疎化・混住化等の進行に伴う集落機能の低下など様々な課題を抱えています。

特に、中国四国地域は、中山間地域を多く抱え、作業条件が不利な農地や小規模農家が多く、集落機能の維持も困難な地域が出現するなど極めて深刻な状況であります。

このため、担い手の育成と併せて、きめ細かい農業基盤整備や農村生活環境整備をはじめ、地域資源を活用した総合的な整備に加え、水利施設の保全・管理や地域を担う土地改良区に対する支援が求められています。

このような状況の下、「経営所得安定対策等大綱」に即し、「農地・水・環境保全向上対策」の推進や、農業農村整備事業の着実な推進が極めて重要であります。

つきましては、厳しい財政状況ではございますが、平成20年度の農業農村整備事業の予算編成にあたり、制度の拡充や予算の確保について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

【平成20年度農業農村整備事業の予算編成について】

要旨

農業農村整備事業は、安定した食料の生産や自然環境・地域資源の保全など豊で美しく魅力のある農業農村を築くために必要不可欠な事業であります。

つきましては、平成20年度の予算編成にあたり、次の事項について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

1. 農業農村整備事業の計画的な推進に向けた

予算並びに新規採択枠の確保

2. 農業農村整備事業に対する地方財政措置の拡充強化
3. 土地改良施設の整備・更新・施設管理に対する公的支援の拡充・強化
4. 多面的機能の発揮等に資する地域資源保全施策の推進

理由

中国四国地域の農業農村整備事業の推進につきましては、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

農業農村整備事業は、農地と水を中心とした整備や保全管理を通じて、食料の安定供給と共に豊で美しい自然環境の維持保全など極めて重要な役割を担っています。

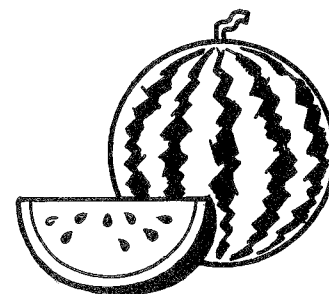
一方、農業農村を取り巻く環境は、農業従事者の高齢化や担い手の不足、更には農村の過疎化などにより地域社会の活力が減少し、集落機能の維持も困難な地域が出現するなど極めて深刻な状況であります。

特に、中国四国地域は中山間地域が多く、作業条件が不利なうえ、小規模農家が多く、担い手の育成とあわせて、きめ細やかな農業生産基盤の整備と農村の生活環境の一体的・総合的な整備が求められています。

また、「農地」や「水」、「土地改良施設」の保全管理に対する強化策が急務となっています。

このような状況の下、農業農村の体質強化を図るため、「食料・農業・農村基本計画」及び「土地改良長期計画」に基づいた農業農村整備事業の計画的推進が極めて重要であります。

つきましては、厳しい財政状況の中ではございますが、平成20年度の農業農村整備事業予算の確保について、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。



21世紀土地改良区創造運動展開

水土里ネットの普及
土地改良区の役割

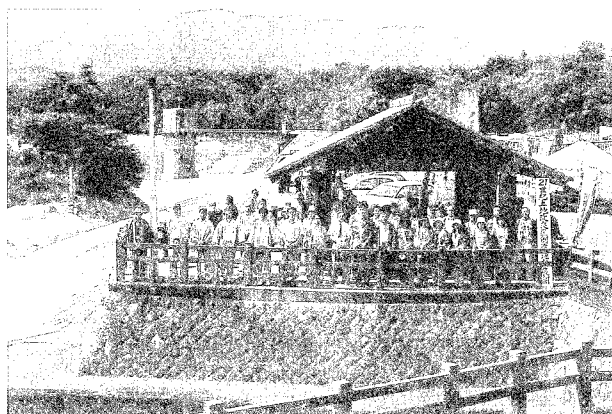
広報キャンペーン

水土里ネット満濃池
水土里ネット香川
香川農地防災事業所
四国土地改良調査管理事務所

去る6月13日、弘法大師ゆかりの満濃池で恒例となった初ゆる抜き奉告祭が行われ、そのゆる抜きに併せ、水土里ネット香川が広報キャンペーンを実施した。

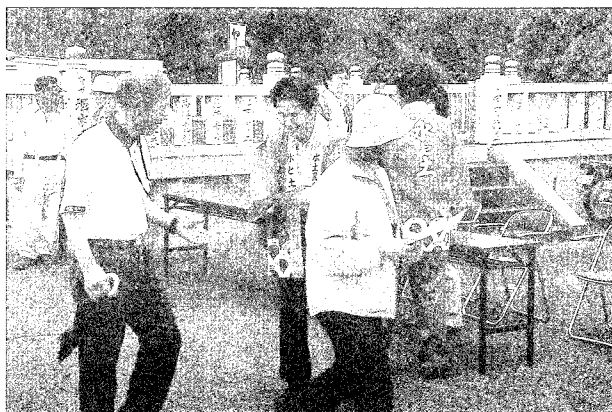
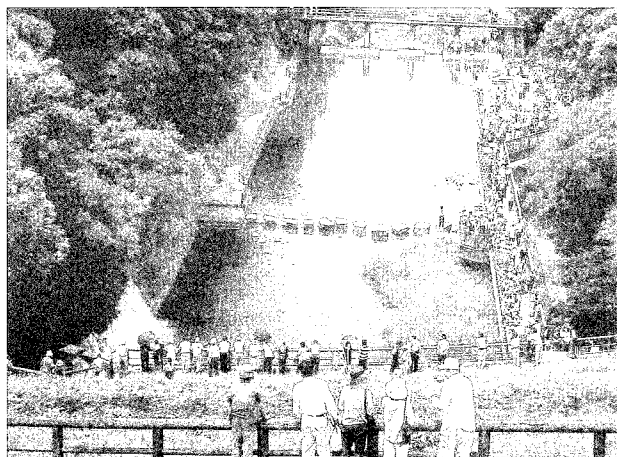
今年のキャンペーンは、平成14年度から取り組んでいる、21世紀土地改良区創造運動の推進に加速をつけるため『100万県民に土地改良区の役割をPRしよう』をメインテーマに県並びに町職員や水土里ネット職員の参加も得て、総勢26名が「水と土」のハッピー姿で満濃池の堤防に勢揃いし、更に、中国四国農政局香川農地防災事業所、中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所の職員もこれに加わり、国、県、市、水土里ネット、県土連の広報体制ができた中、出陣式が挙行された。

午前9時30分、本会企画指導課の三好主幹から開会宣言の後、水土里ネット香川の山地常務理事、木下香川農地防災事業所長から「水と土を守り、農業農村を育てるのは土地改良区である。今日は土地改良区の果たしてきた役割や機能につき、



ゆる抜きに訪れた大勢の見物人に農業農村整備事業の重要性も含め、土地改良区の愛称《水土里ネット》を大いにPRし理解を求めていこう」と出陣の弁が述べられた。

“ため池は先人が残した大切な遺産”“ふるさとを再構築する農業農村整備事業”の横断幕を安全柵に張り準備万端。また、「ご存じでしたか？水土里ネット」のPR紙、「大切な農業水利施設の保全」パンフレット、「疎水百選の旅（水土里の風）」パンフレット、花の種を手渡ししながら、土地改良区に対する理解や農業農村整備事業に対する更なる理解を求め運動を展開した。



さぬき “水の歴史考”

平井 忠志
〔四国作家〕 同人

(47) 川津村百姓騒動の背景

はじめに

明治三年（1870）の春、川津村（坂出市川津町）の農民が、行政への疑念を数か条の文書にして、高松藩に提訴した。「川津村百姓騒動」と呼ばれるのが、これである。疑念の第一条には、十数年前の奥池改修工事の不正疑惑が挙げられている。

当時、讃岐の農民たちは貢租や諸役の負担、藩普請、自普請によるため池増改築の過重な賦役にあえいでいた。川津村百姓騒動もこうした農民への重荷が、明治維新を機に噴出した可能性が強い。ここにその背景を探ってみることにする。

峠の奥池

奥池は城山と金山が接する、山麓の谷間に築かれている。主に城山ゴルフ場一帯の水を集め、貯水量は約23万トンで、70ヘクタール余の水田を潤している。何時の時代に築かれたか記録はないが、『翁媪夜話』（増田休意ほか著・延享三年・1746）にその名が見えるので、江戸時代中期には築かれていた可能性が強い。

記録によると、安政元年（1854）に藩普請による拡張工事が行われた。この時、藩の許しを得て金山の松葉十五万束を切り出し、錢五十貫目（金十二兩余）ほどに売り払って工事費に当てたという。さらに城山からも松葉三万束を伐り出したという。

池工事の疑惑を追及

『東川津村百姓願書』（宇多津西光寺蔵）によると、このとき奥池の普請に要した工事費は、四貫七百八十目ほどであったと聞いているが、「右、余金、四十貫目余の金子、いかが相成り候や」と、訴状の中で厳しく追及している。

そして、村役人たちにも度々掛け合ってみたが、「互いに彼是と申し、塗りつけ合いの儀にて、次第相分り申さず候」と、無責任さを責めている。さらに「ご普請中の諸算用帳面を相見せくれ候よう」申し出たところ、「とやかくと申し、未だ相見せ申さず候」と、帳簿隠しをなしている。



奥池（坂出市川津町）

ほかにも不満の数々

疑惑の追及は、池普請だけではなかった。年貢米に上乗せして徴収している諸経費の使途。軍用金として石高割で徴収した金子の行方なども、申し立てている。

さらに明治元年、京都から白峯寺へ勅使が下向したとき、人足賃・ふとん貸し賃・かご賃など十六貫目お下げ渡しになり、鵜足郡下之郷六か村に配分されたという。だが「当村へは、割り配りに相成りおり申さず候」と、經理に疑問を投げかけている。

そして最後に「右、お取調べのほど、よろしく願ひ上げ奉り候、以上」と結んでいる。

のしかかる満濃池普請

実はこの頃、讃岐の農民たちには、満濃池改修の夫役の割り当てが重くのしかかっていた。当時満濃池の工事は、天領を管轄する倉敷代官所と、高松、丸亀、多度津の三藩、金毘羅社領の五者が水掛かりの石高割で、領内すべての百姓に負担させていた。

このため嘉永六年（1850）に完成した満濃池底樋伏せ替え工事では、高松藩は領内一円に三十万人近い人夫を割り当てている。これは五反百姓の場合、十数日狩り出される計算になる。

むろん川津村の百姓も例外ではなかった。しかもその翌年の嘉永七年には、奥池の拡張工事が行われ、水掛かり百姓が動員された。しかも前年改修を終えたばかりの満濃池が、その年に決壊したのである。

そんな満濃池の改修工事が、明治二年に着工した。当然ながら領内一円に、再び夫役が割り当てられた。川津村の農民の不満が噴出したのも、無理はなかった。

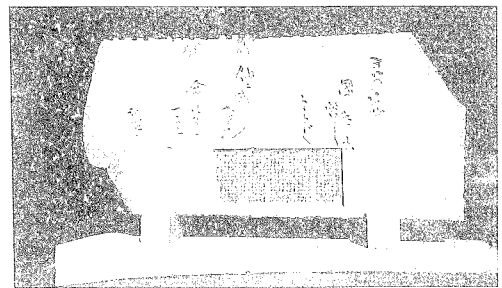
高松藩の困惑

この時期、高松藩は苦しい立場に置かれていた。慶応四年（明治元年）、鳥羽伏見の戦いに敗れた高松藩は、賊軍の汚名を受け官軍に無条件降伏した。そのあと戦犯として二人の家老の首を差し出し、朝廷に十二万両を献金して恭順の意を表している。

そんな中で明治二年九月、もう一つまずい事件が発生した。高松藩保守派の重臣が、勤皇派の家老・松崎澁右衛門を城内で謀殺した。しかも事件を家老の狂乱自殺に偽装し、藩を挙げて隠蔽工作をしている。一説によれば、藩主の意を受けた上意討ちであったという。

これを知った明治新政府は、高松城内に検察官を送り込んで真相の究明に乗り出した。成り行きの如何によつては、藩主も罪をまぬがれない。

そんな時期に農民たちが、藩役人の汚職疑惑を訴え出たのだから、藩もよほど困惑したに違いない。



勤王派高松藩家老・松崎澁右衛門の辞世の歌碑
(満濃池堤防上)

寺院に説得を促す

奥池の疑惑工事は、十六年も前の出来事である。藩はいまさら事を荒立てたくなかった。そこで寺院を介して穏便に、川津村の農民の説得を試みる戦術を用いた。当時の寺は、檀家の百姓たちにとって絶対の存在であった。説得には宇多津の西光寺、聖通寺、円通寺が当たったという。

西光寺に、その結果を藩に差し出した『西光寺報告書』（明治三年四月）が残っている。

「東川津村百姓一件……（略）段々、教諭つかまつり候ところ、……（略）以後、何の一言も申すまじく候と、申し出で候あいだ、御内済（内々）に成し下され候よう……」と説得の成功を知らせている。もし今後、百姓たちが事件を蒸し返した時は、「拙寺、きっとラチ明け申すべく候」と胸を張っている。

恐らく直訴の責任問題を取り上げ、なだめたり脅したりしながら、説き伏せたのではなからうか。

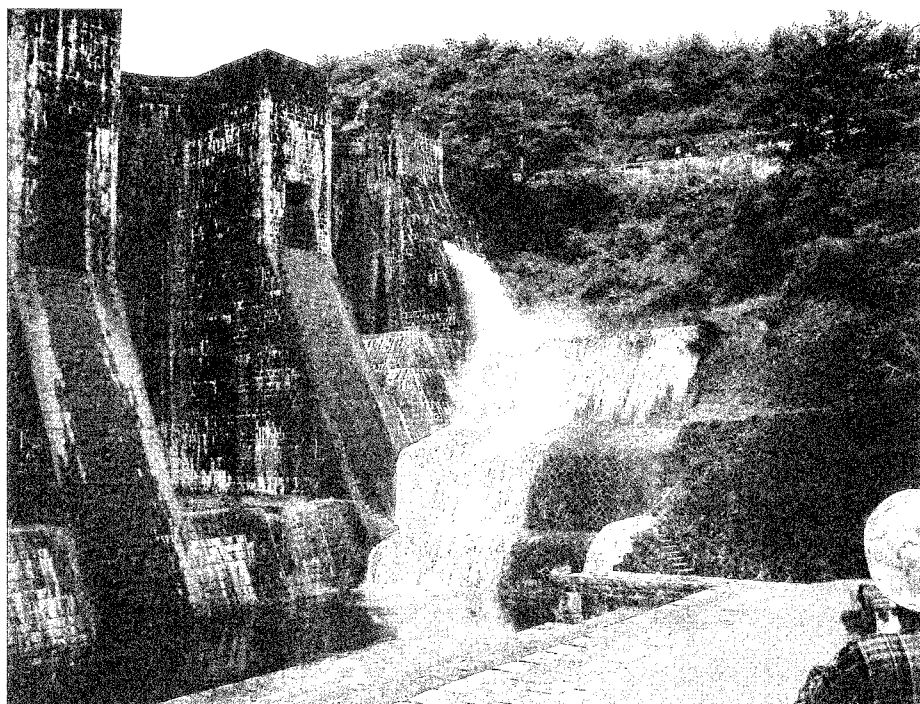
水利事業は自普請に改正

川津村百姓騒動の一件が落ち着いた翌、明治四年七月、廃藩置県により高松県が誕生し、藩主は高松知藩事に任命された。ちなみに同月、松崎家老謀殺事件について新政府の判決が出ている。首謀者は死刑、共犯者十数人が流刑となり、知藩事も責任を問われ四十日間の閉門を仰せつかっている。

翌、明治五年には水利事業の藩普請の制度が廃止され、ため池や井闕、水路などの工事はすべて水掛かりが自普請で行うことになった。この制度はその後度々改正されたが、昭和に入り県営事業が制度化されるまでは、その原則が貫かれている。

豊稔池例年より一足早くゆる抜き

～豊稔池土地改良区～



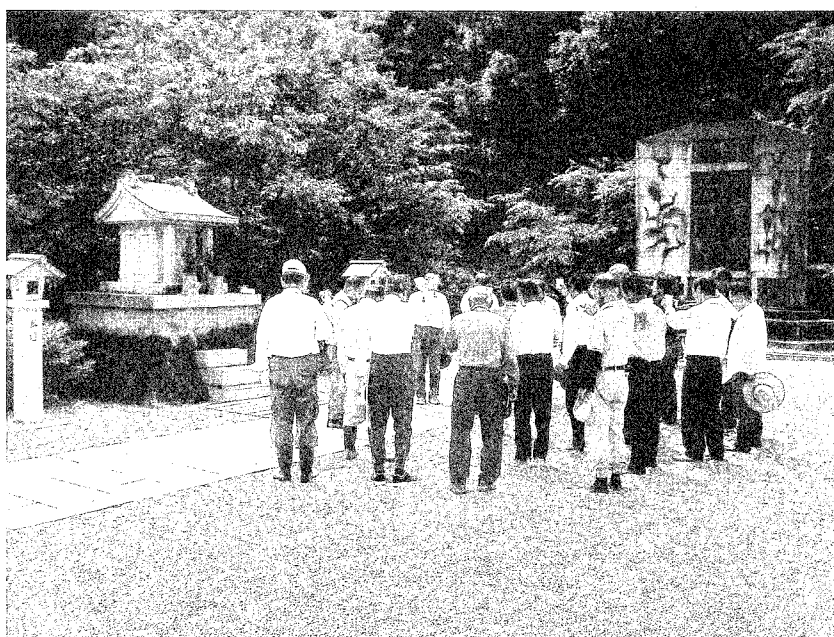
放水口から流下

神酒を注いだ後、ゆるのバルブを回すと、上樋と中樋の2ヶ所から毎秒約4m³の水が水煙を巻き上げながら流れ出た。柞田川以西の旧大野原町、旧豊浜町、観音寺市を合わせた約500haの農地を潤す恵みの水である。

豊稔池土地改良区によると、池のゆる抜きは下流にある井関池の貯水量が3割を切ったところを目安に年2、3回行っているが、例年であれば、7月末から8月初旬に行う1回目を今年は水不足などの影響で1ヶ月半ほど早く実施したそうである。

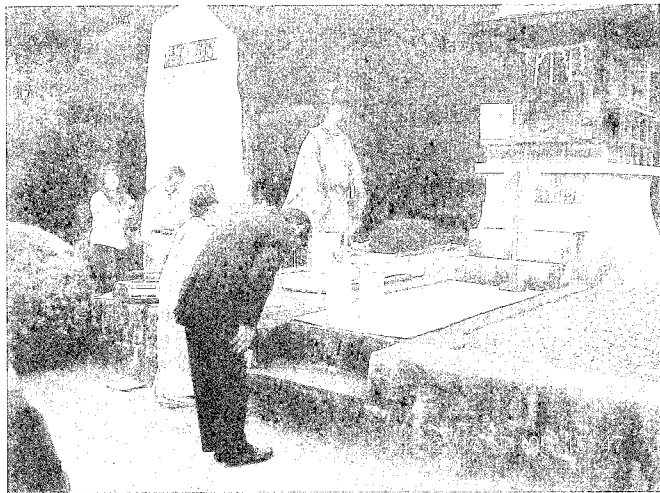
昨年12月に国の重要文化財（建造物）に指定された、観音寺市大野原町の我が国唯一の石積み式マルチプルアーチダムである豊稔池のゆる抜きが6月13日（水）にあった。欧州の古城にも似たえん堤の高さ約20mの放水口から轟音と共にしぶきを上げて水が噴出すと、訪れた見物客から歓声が上がった。

この日は早朝から、豊稔池土地改良区の役職員が豊稔池公園周辺の清掃活動を行った後、堤頂に祭られた水神さんの前で村上明秋理事長ら関係者約20人が出席してゆる抜き式を行い五穀豊穡とため池の安全を祈願した。満水した豊稔池の水面にお



ゆる抜き式

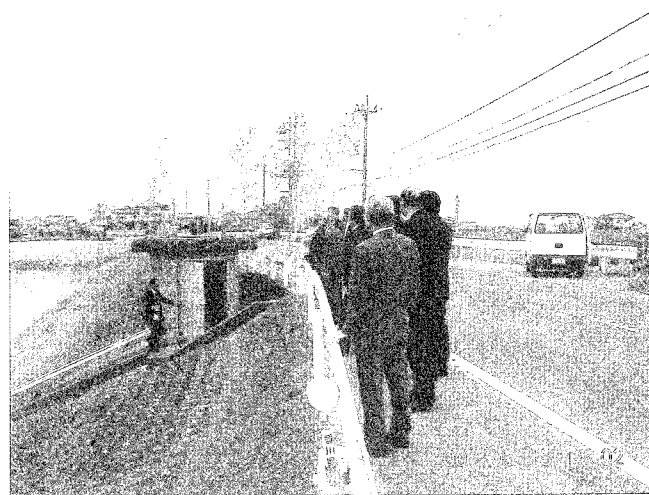
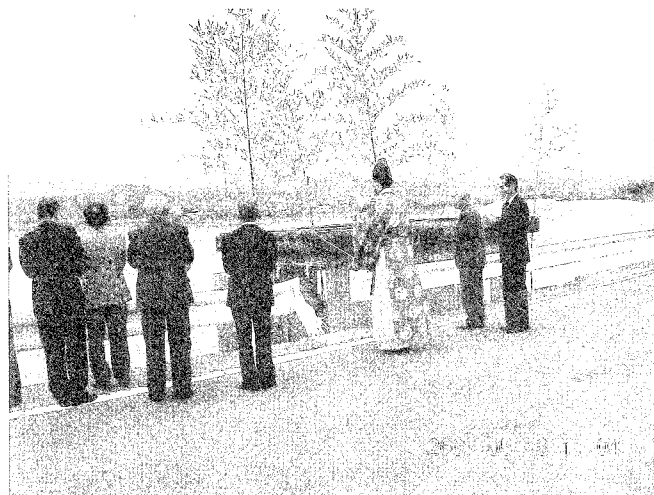
～各地域のゆる抜き紹介～



平成19年6月5日

公測池ほか5ため池のゆる抜き

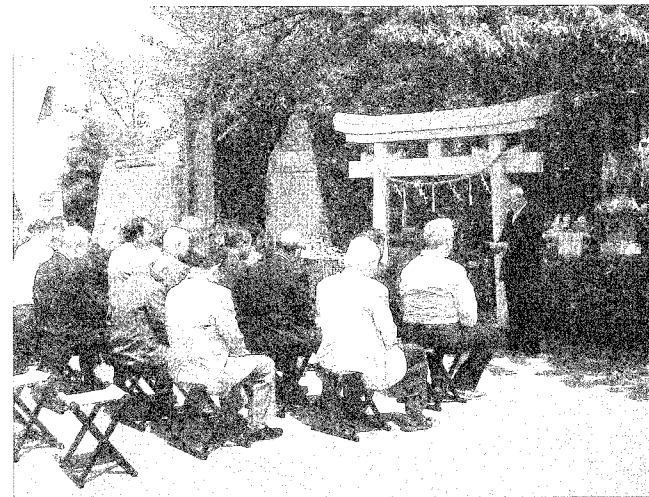
水土里ネット四箇池



平成19年5月18日

新池ゆる抜き

水土里ネット浅野



平成19年5月8日

日吉神社水神例祭

水土里ネット三郎池

小山池環境整備とムカデ芝の定植

去る5月20日、高松市植松町の小山池に水利組合役員や植松団地、植松自治会など約30名が集合。ため池堤防の草刈りや導水路付近では大きく伸びた榎の木を整枝するなど周辺の環境整備を行った。

草刈り作業から1週間後の27日には、池の表法面に雑草の発芽を抑えるために、暑さと乾燥に強いムカデ芝約3,200株と、導水路わきにはひまわりの苗約150本が植え付けられた。

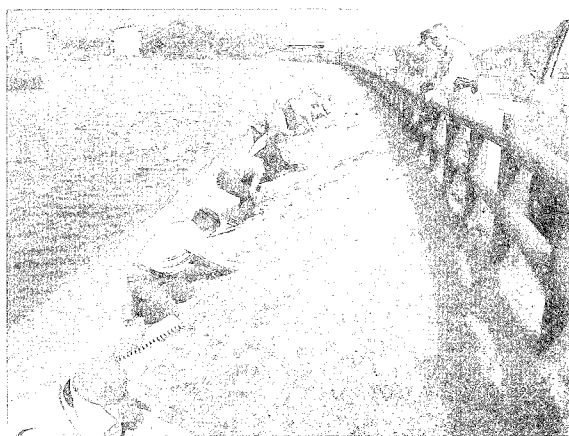
また、今年初めて池の東南側に大量発生した藻を取り除き全作業を終了した。



小学生も草刈りに参加



水利組合役員による機械での除草



ムカデ芝の定植



導水路部分張りだした枝を整枝



藻の取り除き作業

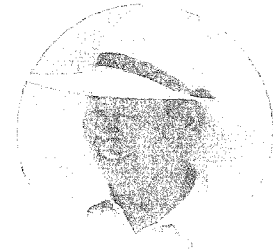


ひまわりの苗の植え付け

水土里ネット屋島仲池・田んぼの学校

～21世紀土地改良区創造運動展開～

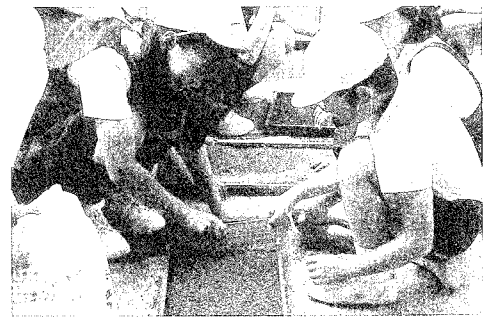
水土里ネット屋島仲池(理事長 谷口辰男氏)による田んぼの学校が今年も開校。高松市立屋島小学校4年生児童117名が農業体験学習として、モミまき、田植え、稲刈りや収穫後の餅つきを行う。児童らは、お米が出来るまでを年間を通して学習し、そのうち自分たちが出来ることを体験。



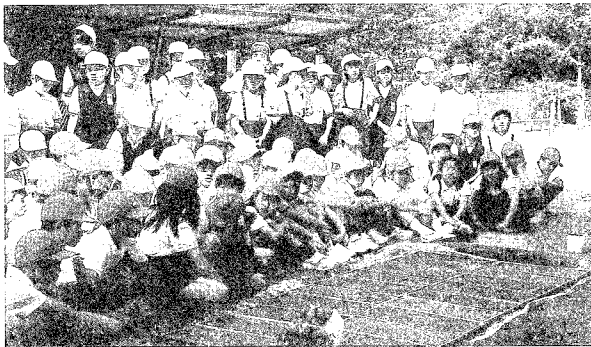
水土里ネット屋島仲池
谷口理事長



水土里ネット屋島仲池・山田理事より指導を受ける児童



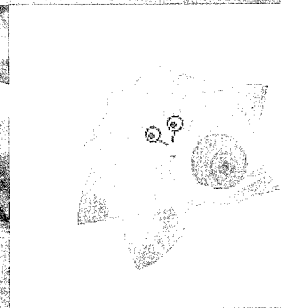
5月29日モミまき：定規を使って土を平らに



6月1日苗だし：水口に花を供え豊作を祈願



6月19日田植え：手植えに挑戦



モミまきをしてから3週間。水不足が心配される中、田植えの日がやってきました。児童らは田植えの前に学校前の仲池(満水時の貯水量2万2千トン)のゆる抜きを見学した後、手植えによる田植えを体験。最初は、ぬるぬるした感触に悲鳴をあげていたが、終わる頃になると歓声に代わり秋の収穫が楽しみと話していた。収穫までの管理は水土里ネットが支援する。



三五郎池水神祭挙行



去る6月5日、小豆郡小豆島町安田の三五郎池堤防右岸側の余水吐け横に鎮座する「池の神社」前で内海町安田三五郎池土地改良区山本理事長外水利関係者等30余名が出席して水神祭が挙行された。式は内海八幡神社黒木宮司により神事が進められ祝詞奏上の後、山本理事長に続いて黒島県議会経済委員長、県小豆総合事務所三谷所長、同土地改良課杉山課長、小豆郡土地改良事業推進協議会谷久会長、小豆島町吉岡副町長、水土里ネット香川川東参事外全員が今年の豊潤な水の確保と五穀豊穡を祈願する玉串奉奠の儀を執り行った。

神事後の挨拶で山本理事長は、今年は雨が少なく近年、経験したことがない状況となっている。例年は2月中旬から貯水を始めると水神祭の頃までには満水になっていた。今年は黒木宮司に雨乞いのお願いする水神祭としたいと述べられた。

続いて黒島県議会議員からは水のありがたさは湧水になってみないとわからない。三五郎池は旧

内海町にとって強力な頼りの水源である。香川はため池に頼る文化を持つ地域であり池、水に感謝する気持ちを持つことが大切であると挨拶された。

県小豆総合事務所の三谷所長からは県の財政は大変厳しく6年連続で減少をする状況にあるが安心・安全に係わる仕事については今後とも努力していく考えであり、土地改良関係の予算についても関係者の協力により昨年と同額を確保できたと報告された。

小豆島町の吉岡副町長からは三五郎池のお陰により産業、防災、生活の面と大変恩恵を受けている。今年は雨が少なく小豆島町では5月28日に湧水対策本部を設置し節水の活動に努めている。この水神祭が雨乞いのお祭りとなり適当な雨があることを期待申し上げると挨拶された。このあと水土里ネット香川川東参事の発声により直らいが始められた。

お詫びと訂正

本誌578号において名称に誤りがあり失礼をいたしました。訂正しお詫び申し上げます。

正

誤り

11ページ7行

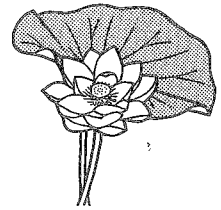
桑井雅人

久桑井雅人

会と催し

- | | | | |
|------|--|-----|--|
| 6月1日 | 21世紀土地改良区創造運動担当者会議
(東京都) | 14日 | 仁池ゆる抜き式(飛渡神社)
(丸亀市綾歌町) |
| 4日 | 全国農地集団化協議会第55回通常総会
(東京都) | 14日 | 香川県農道整備事業推進本部事業連絡
会(高松市) |
| 5日 | 農地・水・環境保全向上対策に係る県
及び地域協議会担当者会議(岡山市) | 14日 | 農業農村整備に関する意見交換会
(高松市) |
| 6日 | 農業集落排水事業諸基準等説明会
(東京都) | 17日 | 長柄池ゆる抜き式(綾川町) |
| 8日 | 平成19年度吉野川総合開発香川用水事
業推進協議会総会(高松市) | 18日 | 平成18年度水土里情報利活用促進事業
成果発表会(岡山市) |
| 8日 | 平成19年度香川地区国営総合農地防災
事業推進協議会総会(高松市) | 20日 | 平成19年度農業集落排水事業諸基準改
正に伴う説明会(高松市) |
| 8日 | 平成19年度香川県農業構造改善協会定
期総会(高松市) | 20日 | 土地改良施設機能更新円滑化対策検討
委員会(東京都) |
| 8日 | 中国四国土地改良事業団体連合会協議
会総会並びに21世紀土地改良区創造運
動中国四国地方大賞表彰式(広島市) | 21日 | 農地・水・環境保全向上対策に係る打
合せ会(高松市) |
| 11日 | 第23回香川用水水口祭(三豊市財田町) | 22日 | 綾川流域水環境保全推進協議会幹事会
(綾川町) |
| 11日 | 平成19年度中国四国農政局管内災害復
旧事業担当者研修会(岡山市) | 22日 | 常任会議員会議(香川県農業会議)
(高松市) |
| 11日 | 中国四国地域技術情報連絡協議会設計
積算施工部会(岡山市) | 22日 | 三豊市担い手育成総合支援協議会幹事
会(三豊市) |
| 12日 | 綾川町担い手育成総合支援協議会通常
総会(綾川町) | 24日 | 主基斎田お田植えまつり(綾川町) |
| 12日 | 平成19年度中国四国農政局管内土地改
良区検査、指導、資金、農地集団化担
当者会議(岡山市) | 27日 | 中国四国土地改良事業団体連合会協議
会提案活動(東京都) |
| 12日 | 農山漁村活性化プロジェクト支援交付
に係る説明会(高松市) | 27日 | 平成19年度国営総合農地防災事業三豊
地区連絡協議会総会(観音寺市) |
| 13日 | 満濃池初開抜き式(まんのう町) | 28日 | 平成19年度第3回観音寺市地域担い手
総合支援協議会幹事会(観音寺市) |
| | | 29日 | 中山間総合整備事業山南地区総代会
(三木町) |

暑中お見舞い申し上げます



平成19年 7月

香川県土地改良事業団体連合会

会 長	池 田 長 義	理 事	千 葉 宗 和
副 会 長	組 橋 啓 輔	”	山 下 正 臣
常 務 理 事	山 地 孝 士	代 表 監 事	森 川 光 典
理 事	石 原 收	監 事	北 原 和 夫
”	十 川 昭 五	”	富 家 優 薫
”	泉 川 静 雄	顧 問	猪 熊 俊 雄
”	白 川 精 彦	参 事・事 務 局 長 (兼)企 画 指 導 課 長	川 東 正 二
”	三 笠 輝 樹	事 務 局 次 長(兼)総 務 課 長・電 算 課 長	川 西 好 悟
”	大 山 茂 典	事 務 局 次 長(兼) 換 地 登 記 課 長	三 好 康 博
”	谷 久 正 博	調 査 設 計 課 長	高 木 康 博

ほか職員一同

大川支所

支 所 長 湊 敏 好
支 所 次 長 武 下 幸 徳

仲多度支所

支 所 長 内 海 幾 夫
支 所 次 長 十 鳥 勉 治
支 所 次 長 岡 賢 治

中部支所

支 所 長 湊 敏 好
支 所 次 長 太 田 久 夫

三豊支所

支 所 長 上 原 秀 雄
支 所 次 長 安 川 哲 生

ほか支所職員一同